

平成28年第1回定例会（2月議会）

予算特別委員会農林水産分科会  
付託議案関係資料

（補正予算関係）

**2月24日追加提案分**

平成28年2月24日

農 林 水 産 部

# 目 次

1	(新) 担い手確保・経営強化支援事業 [農林政策課]	-----	1
2	(新) I Love 秋田産推進事業 [農業経済課]	-----	3
3	(新) You Love 秋田産推進事業 [農業経済課販売戦略室]	-----	6
4	(新) ゴハンといえば秋田米推進事業 [水田総合利用課]	-----	9
5	(新) 「秋田スギがスキ！」ウッドファーストあきた 加速化事業 [林業木材産業課]	-----	11
6	(新) 農林水産業おたすけドローン実証事業 [水田総合利用課]	-----	12

# 1 担い手確保・経営強化支援事業（新規）

農林政策課

次世代を担う経営感覚に優れた経営体を育成するため、意欲ある農業者が行う融資を活用した経営発展に必要な機械・施設等の導入を支援する。

## 1 事業内容

### (1) 支援内容

農業用機械、施設等の導入

### (2) 支援対象者

次のいずれかの要件を満たす経営体

ア 人・農地プランに位置づけられた中心経営体であり、かつ、認定農業者、認定就農者、集落営農組織

イ 農地中間管理機構から貸借権の設定を受けた者

### (3) 補助率

1/2以内（上限額 法人3,000万円、個人1,500万円）

## 2 事業主体

市町村

## 3 予算額

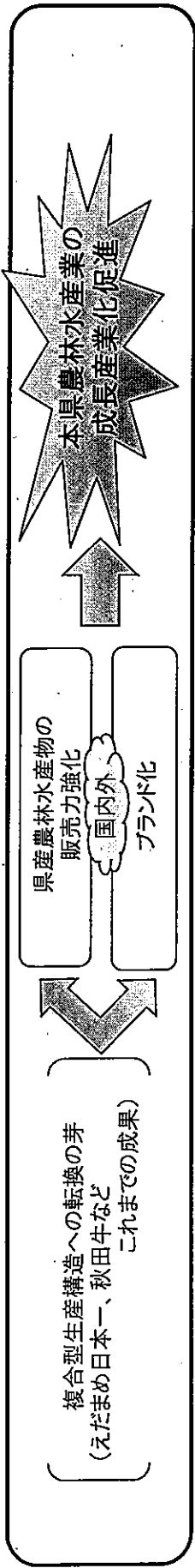
441,351千円（国庫支出金）

## 4 事業年度

平成27年度～

# 国内外に打って出る秋田の農産物「日本一」発信事業

総事業費 138,558千円



## You Love 秋田産推進事業 (首都圏・海外への販売)

事業費 46,096千円  
【農業経済課販売戦略室】

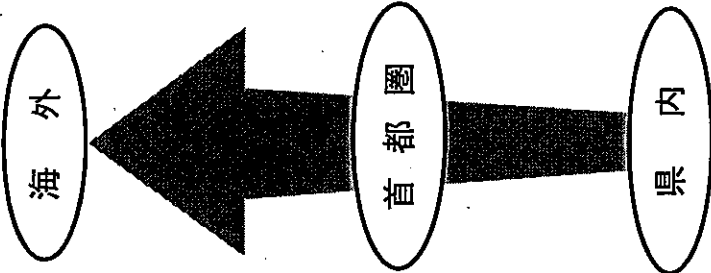
- (1) 「大丸有エリア」(大手町、丸ノ内、有楽町)での集中プロモーション  
 > 若手農業者によるマルシェ、レストランフェア、OL塾等を展開
- (2) 秋田の強みと企業力を生かした販売促進  
 > 東急ストアでのフェア開催、大手企業の社食等でのメニュー提供  
 > 米、枝豆等の青果物、秋田牛、比内地鶏の輸出促進

## コホンといえば秋田米推進事業

事業費 27,144千円  
【水田総合利用課】

- (1) ハイクオリティー秋田米づくり  
 > 極上こまち、SUSHI米など高級志向に対応した地域ごとのプレミアム商品づくり  
 > 小分け商品による食べ比べセット商品の販売
- (2) 企業とタイアップしたPR  
 > 食品企業と連携した秋田米PRキャンペーンの実施  
 > 品種類毎の炊飯特性で寿司用や丼物など用途別の販路拡大等  
 > 本場の秋田米で作った本物のきりたんぼとセットでPR  
 > 海外向け冷凍おにぎりの開発等

## 【日本一の発信段階と事業との関連】



## 「秋田スギがスギ！」 ウッドファーストあきた加速化事業 (県産材の需要拡大の加速化)

事業費 40,251千円  
【林業木材産業課】

- (1) あきた県産木材海外販路開拓事業  
 > 世界的デザイナーや海外展開する国内企業と連携し、韓国、イタリアで製材品や家具等の秋田スギブランドの売り込みを展開
- (2) 秋田スギ仕様の高機能住宅商品開発事業  
 > 高気密・高断熱など高機能な住宅の構造材に一定以上の県産スギ材を用いる住宅商品の開発を支援

## つながるひろがる「里山の恵み」 プロモーション事業

事業費 7,689千円  
【活力ある集落づくり支援室】

- (1) 里山の恵みプロモーション  
 > 地域資源であるクロモジ(ハーブ)やワラビネ(わらび餅の原料)などの「里山の恵み」を活用し、首都圏地域づくり支援団体とともに、一貫した商品化プロモーションを展開

## 「Love 秋田産推進事業 (改める気運の盛り上げ)」

事業費 17,198千円  
【農業経済課】

- (1) Love 秋田産ブームアップキャンペーンの実施  
 > TV情報番組等を活用して、県産農林水産物の情報をきめ細かく発信  
 > 局アナを「Love 秋田産応援大使」に任命し、県産農林水産物に対する県民の応援ムードを醸成
- (2) Love 秋田産プロモーション事業  
 > 全国屈指の生産量や品質を持つ農産物、伝統野菜、伝統野菜、秋田の食材の底力をテーマにPR企画を公募して、県内大型量販店等で県民参加型のイベントを実施

## 2 I Love 秋田産推進事業（新規）

農業経済課

県産農産物の県内での消費拡大を図るとともに、県民全体で農業への応援気運を盛り上げていくため、マスメディア等と連携しながら県産農産物の情報発信を行う。

### 1 事業内容

#### (1) I Love 秋田産ブームアップキャンペーン実行委員会の設置等

食に関わる幅広い機関・団体等によるキャンペーン実行委員会を設置し、発信する情報や企画の内容に関する協議・調整を行う。

ア 構 成 員 NPO法人地産地消を進める会、農業団体、消費者代表、量販店、旅館  
ホテル業界、卸売業者、メディアパートナーシップ共同体（秋田テレビ、秋田放送、秋田朝日放送、秋田魁新報社、エフエム秋田）等

イ 開催回数 年3回（4月、8月、11月）

#### (2) I Love 秋田産ブームアップキャンペーンの実施

県産農産物の効果的な周知を図るため、マスメディアの情報発信力を活用した普及啓発活動を展開する。

ア テレビ・ラジオCM告知による“I Love 秋田産”の周知

- ・ 放送時期 周年
- ・ 放 送 秋田放送、秋田テレビ、秋田朝日放送、エフエム秋田
- ・ 内 容 共通キャッチコピーによるキャンペーンの周知

イ 情報番組での県産農林水産物のPR

- ・ 時 期 24回（3社 各8回／年）
- ・ 番 組 「エビス堂ゴールド」、「サタナビっ!」、「スーパージャンピン」等
- ・ 内 容 旬の農産物や産地・農家等の取組  
県産農産物を使用したレシピ  
首都圏プロモーションの様子 等

ウ 各社HPでの県産農産物等情報の発信

- ・ 関連イベントの告知、番組内で取り上げた産地・レシピ 等

エ 各局イベントでの県産農産物のPR

- ・ 「ABS祭り」等、各局が行うイベントでの I Love 秋田産PRブースの設置

オ 「I Love 秋田産応援大使」の任命

- ・ 「I Love 秋田産応援大使」（民放各局アナウンサー）の任命と、TV、番組、CM等での県産農産物愛用の呼びかけ。

カ 新聞へのI Love 秋田産関連イベント・レシピ等の掲載

- ・ 掲載回数 通年
- ・ 掲 載 秋田魁新報社

(3) I Love 秋田産プロモーション事業

県産農産物への理解を深め、県民から発信してもらう情報を充実させるため、「秋田の食材の底力」(仮称)をテーマとした県民参加型イベント等を実施する。

ア 想定される内容 産地等体験交流会の開催

県内量販店が一斉に行う「I Love 秋田産応援フェア」の開催

県内伝統野菜や6次産業化商品等の試食・販売会の開催 等

イ 委託先 企画提案競技により決定

2 事業主体

県

3 予算額

17,198千円 (国庫支出金)

(1) : 1,018千円	〔	報償費	195千円
		旅費	184千円
		需用費等	639千円

(2) : 9,180千円 (委託費 9,180千円)

(3) : 7,000千円 (委託費 7,000千円)

4 事業年度

平成27年度～

# I Love 秋田産推進事業 (新規)

I Love 秋田産ブームアップ  
キャンペーン実行委員会

- 構成: 民放3社、魁新報、FM秋田、地産地消NPO、卸・量販、消費者、農業団体、旅館ホテル業界、県等
- 内容: 発信する情報や企画内容に関する協議・調整など

メディアパートナー  
シップ共同企業体



## 産地



- 産地や農家の取組
- 旬の野菜

## 地産地消の活動 首都圏での活動



- 秋田産子フェア
- 朝穫り野菜の午後蔵り
- 直売フェスタの開催
- 卸売市場まつり、市場開放デーの開催
- ホテル・旅館での朝食キャンペーン など

## 取材



民放3社

I Love 秋田産

I Love 秋田産

FM秋田

I Love 秋田産!

さきがけ新聞

イベント、産地・旬野菜レシジビ等の掲載

- テレビ・ラジオCM告知による「I Love 秋田産」の周知
- 情報番組での県産農林水産物のPR
- 各社HPでの県産農産物等情報の発信
- 各局イベントでの県産農産物のPR
- 「I Love 秋田産応援大使」の任命 など

## I Love 秋田産プロモーション事業

- 「秋田の食材の底力」(仮称)をテーマとした県民参加型イベント等を実施
- 産地等体験交流会の開催
- 県内量販店が一斉に行う「I Love 秋田産応援フェア」の開催
- 県内伝統野菜や6次産業化商品等の試食・販売会の開催 など

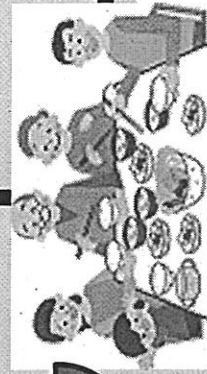
食べて応援!

盛り上げ  
付加情報

情報  
発信

「商品・取組の周知」 → 「購買 (利用) の動機付け」 → 「農業・産地の理解醸成」

売り場・  
飲食業界



### 3 You Love 秋田産推進事業（新規）

農業経済課販売戦略室

国内外における県産農産物の販売力を強化するため、秋田の強みを生かして認知度向上とブランド化に向けたプロモーションを展開する。

#### 1 事業内容

##### (1) 首都圏における販売力強化

都心の大丸有（大手町・丸の内・有楽町）エリアでプロモーションを実施する。

ア 事業内容 若手農業者による有楽町マルシェ、レストランフェア、丸の内OL塾の開催、雑誌・ウェブサイトでのPR 等

イ 実施時期 7～10月

##### (2) 量販店・社食・学食でのPR

ア 東急あきたフェア

県産農産物を積極的に取り扱っている東急ストアにおいて、フェアを開催する。

・ 事業内容 7～10月の各月に「あきたWEEK」を開催 等

イ 社食・学食での秋田フェア

大手企業の社員食堂や栄養士を養成する大学の食堂で、メニュー提供等を行う。

・ 実施時期 6～12月

##### (3) 商談機会の提供

ア 首都圏商談会への出展

外食等に販路を持つ中間流通業者が開催する商談会に出展する。

イ バイヤー招へい

食材卸等のバイヤーを招へいし、JAや農業法人等とマッチングを行う。

##### (4) 観光客等へのPR

宿泊施設において、旬の農産物を使用した朝食キャンペーンを実施する。

・ 実施期間 7～11月

・ 実施場所 秋田市内のホテル

##### (5) 企業と連携した米の輸出促進

海外に販路を持つ企業と連携し、本県の多様な品種を活用しながら、日本食レストランへの業務用需要等を開拓する。

・ 助成対象 営業活動、サンプル提供、販促資材作成 等

・ 補助率 1／2以内

・ 事業主体 農業団体

・ 対象国 香港、シンガポール、マレーシア 等



(6) 青果物の輸出促進

枝豆やりんご等のオリジナル品種の販路を開拓する。

- ・ 事業内容 中秋節・春節向け商品造成とプロモーション、生鮮物流の実証 等
- ・ 対象国 香港、シンガポール

(7) 秋田牛・比内地鶏の輸出促進

ア 秋田牛の輸出ルートの確立・定着と販路拡大

タイの高級レストランにおける秋田牛の定着と販路拡大を図る。

- ・ 事業内容 レストランシェフ等を対象にした試食会の開催、現地バイヤー・ブローカーの招へい、現地量販店におけるPR 等
- ・ 対象国 タイ

イ 比内地鶏の輸出ルートの開拓

検疫条件に対応するとともに、輸出ルートの開拓に取り組む。

- ・ 事業内容 食鳥処理体制の整備、見本市への出展、レストランへの売り込み 等
- ・ 対象国 香港

2 事業主体

(1)～(7)：県（(5)を除く）

(5)：農業団体

3 予算額

46,096千円 (国庫支出金)

(1)：12,190千円	〔旅費等 委託料〕	990千円 11,200千円
(2)：6,275千円	〔旅費等 委託料〕	1,893千円 4,382千円
(3)：1,867千円	〔旅費等 使用料及び賃借料〕	807千円 1,060千円
(4)：2,388千円	(委託料)	2,388千円
(5)：2,748千円	〔旅費等 負担金補助及び交付金〕	1,248千円 1,500千円
(6)：8,323千円	〔旅費等 委託料〕	1,742千円 6,581千円
(7)：12,305千円	〔旅費等 委託料〕	1,076千円 11,229千円

4 事業年度

平成27年度～

# You Love 秋田産推進事業の概要

視 点

発信力の高い  
「大丸有エリア」での  
集中プロモーション

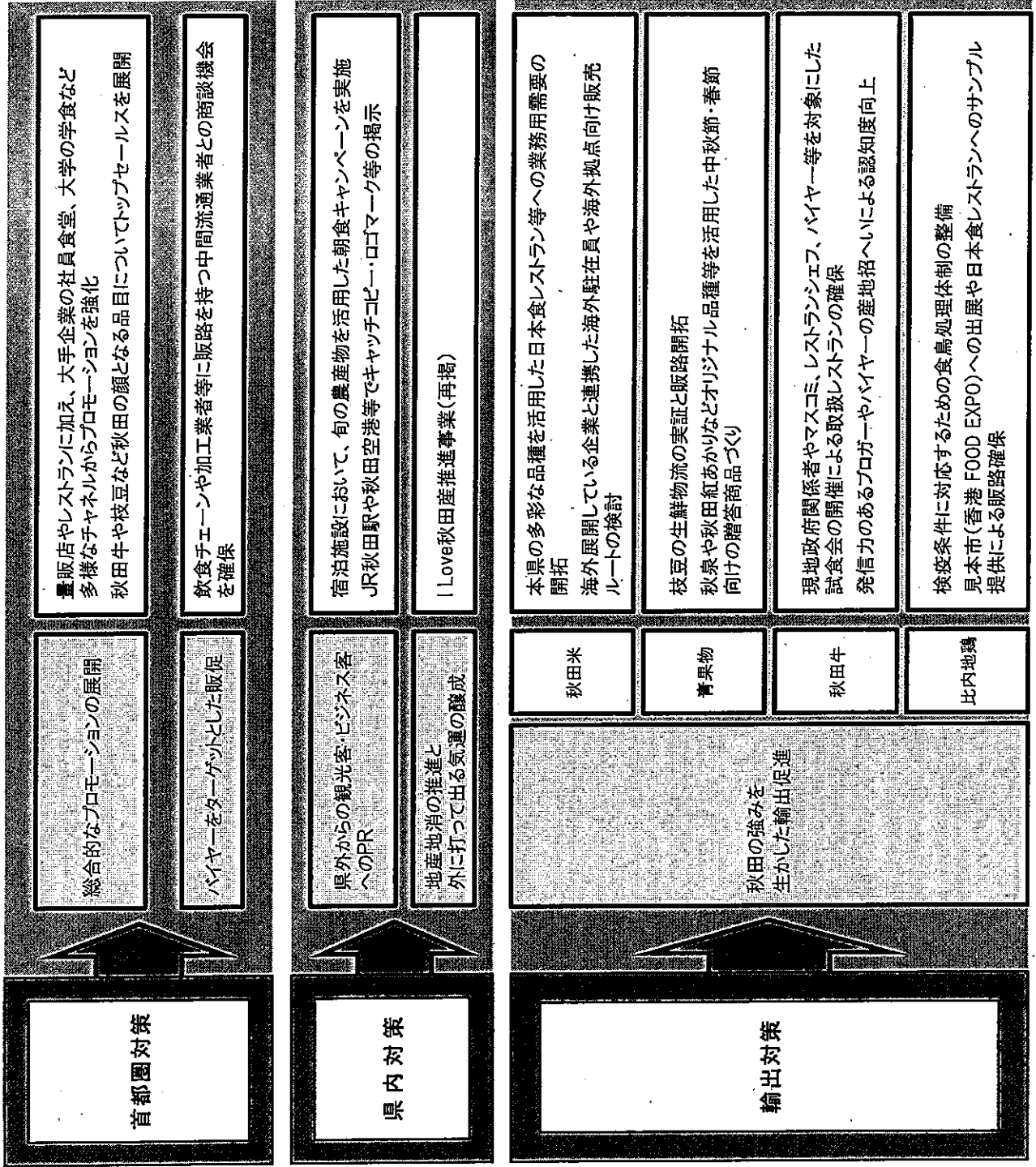
秋田の強みと  
企業力を生かした  
販売促進



認知度向上

ブランド化

事業の展開方向



## 4 ゴハンといえば秋田米推進事業（新規）

水田総合利用課

秋田米のグレードアップと市場シェアの拡大を図るため、オール秋田での区分集荷体制の構築と極上商品づくりへの支援を行うとともに、企業とタイアップしたPR活動を展開し、消費者から選ばれる産地づくりを推進する。

### 1. 事業内容

#### (1) 秋田米クオリティーアップ支援事業

##### ア あきたこまち商品力再興支援事業

J A全農による「プレミアムファイブ」を核としたオール秋田での良質米生産と品質区分集荷による新たな商品づくりを支援する。

- ・ 補助率 1/3以内

##### イ 地域プレミアム米づくり支援事業

良食味米生産と品質区分を基本とするJ Aの極上商品づくりを支援する。

- ・ 補助率 1/3以内（上限額 800千円）

##### ウ 目指せ最強のSUSHI米産地づくり支援事業

米の品種や食味、粒の大きさなどから、寿司米など販売ターゲットを絞り込みニーズにきめ細かく対応できる産地づくりを支援する。

- ・ 補助率 1/3以内（上限額 1,200千円）

##### エ 新品種こだわり商品づくり支援事業

首都圏等の米専門店をターゲットに、特別栽培米による新たな商品づくりと販売促進活動への取組を支援する。

- ・ 補助率 1/3以内（上限額 500千円）

#### (2) あきた売れる米づくり運動推進事業

##### ア 売れる米づくり推進事業

秋田米の評価向上に向けた取組を積極的に推進するため、農業団体等との総合的な戦略の検討や情報収集を行う。

- ・ 実施内容

「あきた売れる米づくり推進会議」の開催と情報収集、研修会の開催 等

##### イ 秋田米「特A」評価拡大チャレンジ事業

秋田米の食味ポテンシャルを最大限発揮させる栽培技術体系の普及を図る。

- ・ 実施内容

食味向上技術実践ほの設置、米の内部品質分析と食味評価試験の実施 等

##### ウ 新品種スタートダッシュ推進事業

新品種の栽培技術の向上や首都圏でのマーケティング活動を行う。

- ・ 実施内容

特別栽培米技術実証ほの設置や現地検討会の開催、首都圏等の米専門店との情報交換会の開催、リーフレット作成 等

#### (3) 秋田米販売促進対策事業

##### ア 秋田米シェア拡大キャンペーン事業

全国展開する企業等と連携したPR活動や販売減少期における販促活動を展開する。

- ・ 実施内容

企業と連携した秋田米キャンペーンの展開、首都圏百貨店での「あきたe c o らいすウィーク」の開催、販売減少期（1～2月）の試食販売会の開催

- ・ 補助率 1/3以内

イ 秋田米トップセールス事業

知事や経済界代表等が名刺交換を行う際に、秋田米を配布しPRを行う。

- ・ 配布者 知事、副知事、県議会議長、商工会議所会頭、JA連合会会長 等

ウ ベストマッチング秋田米提案事業

県産米5銘柄の炊飯特性を分析し、それぞれの美味しい食べ方の提案等を行い、用途に応じた秋田米の需要拡大を図る。

- ・ 実施内容

味覚バランスの分析、消費者へのモニター調査とメニュー提案、食べ比べセットの販売 等

エ 新たな販路開拓に向けた海外向け米加工商品開発事業

冷凍おにぎり等の開発と輸出に向けた取組を支援する。

- ・ 事業主体 県内食品企業
- ・ 補助率 1/2以内

(4) 食で売り込む秋田米PR事業

ア 料理教室の開催による秋田の米と食のPR

首都圏で料理教室を開催し、「秋田米と本物のきりたんぼ」などの情報発信を行い、秋田米の消費拡大とその食文化の魅力をPRする。(実施期間10月中旬～2月)

2 事業主体

- (1) : JA全農秋田県本部、JA
- (2)、(4) : 県
- (3) : JA全農秋田県本部、県、県内食品企業

3 予算額

27,144千円 (国庫支出金)

(1) : 6,000千円 (負担金補助及び交付金 6,000千円)

(2) : 4,849千円 (旅費等 2,998千円  
委託料 1,851千円)

(3) : 9,495千円 (旅費等 877千円  
委託料 2,518千円  
負担金補助及び交付金 6,100千円)

(4) : 6,800千円 (委託料 6,800千円)

4 事業年度

平成27年度～

## 5 「秋田スギがスキ！」ウッドファーストあきた加速化事業（新規）

林業木材産業課

ウッドファーストあきた林業雇用拡大事業等により進めている県産材の需要拡大対策について、その取組を加速化するため、新たに輸出や県産材仕様の高機能住宅商品開発の支援を行う。

### 1 事業内容

#### (1) あきた県産木材海外販路開拓事業

県産材の製品での輸出を促進するため、韓国及びイタリアで開催される展示会に県産木材製品を出展し、輸出に取り組もうとする県内企業に商談機会等を提供する。

##### ア 韓国

韓国市場において、実績のある卸業者等を介して、製材品を中心に展示会への出展やアンテナショップを設ける等の販売促進活動を試行的に行い、あわせて市場調査を行う。

(ア) 委託先 民間企業等（公募による選定）

(イ) 実施内容 展示会出展、アンテナショップ設置、市場調査等

##### イ イタリア

世界的デザイナーと県内企業が連携し、秋田スギ家具の開発を行うとともに、開発した家具を平成29年1～2月にミラノで開催される展示会に出展する。

(ア) 委託先 民間企業（公募による選定）

(イ) 実施内容 秋田スギ家具の開発、展示会への出展等

#### (2) 秋田スギ仕様の高機能住宅商品開発事業

高气密・高断熱など、高機能な住宅を手がける県内外の住宅メーカーにおける、県産スギ材を構造材に一定以上用いた仕様とする住宅商品の開発を支援する。

ア 事業主体 民間企業（公募による選定）

イ 支援内容 外材を主に使用する住宅メーカーでの県産スギ材仕様の商品開発に必要な性能調査等

ウ 補助率 定額（10/10以内（上限額 10,000千円））

### 2 予算額

40,251千円（国庫支出金）

(1) : 20,251千円 

委託料	1,868千円
需用費等	1,569千円

(2) : 20,000千円（負担金補助及び交付金 20,000千円）

### 3 事業年度

平成27年度～

## 6 農林水産業おたすけドローン実証事業（新規）

水田総合利用課

農林水産業における作業の効率化や農産物の高品質化等のため、県内企業等で構成するコンソーシアムにより、農林水産分野でのドローンの利用に向けた可能性を調査し、実用化を推進するとともに、ドローンの生産、販売に取り組む県内企業を育成する。

### 1 事業内容

#### (1) 画像データを活用した農産物の高品質化等の検討

ドローンにより短時間で広範囲のほ場を撮影した画像データを基に、タンパク値分析と収量予測の手法等や生産現場で活用できるソフトウェアの開発を支援する。

##### ア 実施内容

- ・ 水稻の撮影画像データから刈取適期の判断とタンパク値分析の手法を確立し、収穫作業の効率化と区分集荷への活用を検討
- ・ 果樹の樹体ごとの撮影画像データ分析を行い、生育診断に基づく適切な追肥や収量予測への活用を検討
- ・ 牧草地の空撮により、牧草の生育状況の把握や雑草の草種判別等への活用を検討

##### イ 補助率 1/2以内

#### (2) 農薬散布による病虫害・雑草防除効果の検証

中山間地等における無人ヘリ防除の補完やスポット処理など、効率的かつ効果的な病虫害・雑草防除に向けたほ場調査や作業性の評価、農薬用散布機の改良等を支援する。

##### ア 補助率 1/2以内

#### (3) 松くい虫やナラ枯れ被害木処理の省力化への活用の検討

林内に立ち入って行う松くい虫やナラ枯れ被害木の調査について、ドローンによる詳細な位置情報の把握と調査作業の省力化を検証する。

#### (4) 藻場の状況把握作業の効率化による「つくり育てる漁業」への活用を検討

把握できる面積が限られている船上からの観察や潜水による藻場調査について、ドローンによる低空からの撮影により短時間で広範囲の藻場の状況等を把握できる手法を開発する。

### 2 事業主体

(1)、(2)：県内企業等によって構成されたコンソーシアム

(3)、(4)：県

3 予算額

14,952千円 (国庫支出金)

(1) : 9,122千円 (負担金補助及び交付金 9,122千円)

(2) : 1,725千円 (負担金補助及び交付金 1,725千円)

(3) : 1,991千円 (委託料 1,991千円)

(4) : 2,114千円 (委託料 2,114千円)

4 事業年度

平成27年度～